

地域交流支援事業のご紹介

農と食と人を繋ぐ、地域活性化に向けて



緑をつなぎ、

笑顔をつなぎ、

未来へつなぐ。



一般社団法人

全国農協観光協会

全国農協観光協会はJAグループにおける
都市と農村の交流促進を担う一般社団法人です。
豊かで潤いのある社会づくりに貢献する事業に取り組んでいます



【主な事業】

- ・農村と都市との交流および地域の振興・活性化の促進
- ・農山漁村地域における観光資源、民俗文科資源の開発、保存および普及
- ・農家の余暇・観光レクリエーション活動の促進
- ・農山漁村地域の活性化に関する広報活動
- ・JA旅行事業体制の整備と余暇・観光普及のための教育研修の企画・開催
- ・農山漁村地域の観光資源・民俗文化資源の開発・保存と普及

- 名称 一般社団法人 全国農協観光協会
- 本所 〒101-0021 東京都千代田区外神田1-16-8 Nツアービル4F
TEL 03-5297-0321 / FAX 03-5297-0260
- 西日本事務所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-11-10新三宝ビル4F
TEL 06-6195-3960 / FAX 06-6195-3970
- 設立 昭和42年8月1日
- 会員数 107会員(令和3年6月10日現在)



都市農村交流

農業・農村のファン創りに向け、**体験型交流企画を実施**しています。
農業体験・農村交流・農業ボランティア
企画を通じて、地域活性化及び交流人口の拡大に努めています。

教育研修

研修を通じ地域の観光振興と促進のための**資格取得研修会（旅程管理研修、国内旅行業務取扱管理者等）**を行うほか、観光客受入を促進する観光人材育成の研修会を開催しています。



地域交流支援

農山漁村で生まれ、その土地に眠る数々の宝。この宝を磨き、魅力を伝え、交流を生み出すためには、地域一丸での取り組みが不可欠です。その土地に住む皆様と共に考え、**活気と誇りに溢れる地域づくりをお手伝い**します。

広報調査研究

JAグループ関係機関との連携強化を図りながら、観光促進による農山漁村地域の活性化を目的とした調査研究を実施するとともに、SNS等のその時代において効果的なメディアを活用した広報に取り組みます。

日本農業検定

この検定を通して多くの人が**農業への理解**を一層深め、農業に関わる担い手へと成長し、**食の安全や安心**について高い関心と必要な知識を持った「**良き農業の理解者・応援団**」を増やしていきます。

地域交流支援事業について

「農泊」を活用した地域づくりのお手伝いをします！

農林水産省が推進する「農泊（農山漁村滞在型旅行）※」を主に活用し、地域を訪れる観光客に、地域の魅力を伝えることができる持続的な仕組みづくり、食と農の交流の場づくりを支援します。

最初の計画づくりから、人材の育成、観光資源の発掘・磨き上げ、ツアーの作成方法や旅行手配など観光地域づくりに必要なあらゆるノウハウをご提供します。



共に農泊地域づくりを実現しませんか？

次のようなご意向をお持ちでしたらお声がけください。

- ・「農泊」で地域を活性化させようと真剣に考えている。
- ・交付金等から自立し、持続的な経済活動として「農泊」に取り組む強い意志がある。

※「農泊」とは：農山漁村地域に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」のことです。地域資源を観光コンテンツとして活用し、インバウンドを含む国内外の観光客を農山漁村に呼び込み、地域の所得向上と活性化を図ります。



ご支援のイメージ

弊会が20年以上にわたって実施してきた都市農村交流事業や観光・旅行関連支援事業の中で築いた、交流人口拡大による地域振興・交流事業を全国各地へ展開しております。

体制整備

体制整備
活動計画の策定



地域の体制整備を図りながら、現状や課題、ターゲット層を踏まえ、総合的な活動計画を策定します。

ニーズ調査

アンケート・ヒアリング
調査・データ分析



各種リサーチ調査に加え、地域内施設の来訪客を対象に観光動線、体験コンテンツ等を調査し、現状やニーズを把握します。

情報発信

マニュアル・サイト・
動画・紙媒体等制作



調査や実践活動で得られた情報をターゲット層に応じて、ニーズに合わせたツールを制作します。

コンテンツ支援

モニターツアー・ファム
トリップ等実践活動



調査や研修の実践の場としてお客様を呼び込み、受入・運営体制の強化を図ります。

プラン研修・
安全管理研修



プラン造成や安全管理など交流の場づくりに必要である知識や技術を身につけます。

体制整備支援プログラム

No	分野	テーマ	所要時間目安	金額(税別)
1	体制整備	ヒアリング調査 実地踏査編	2～3日程度	10万円
2	体制整備	地域資源調査 実地踏査編	2～3日程度	10万円
3	体制整備	農泊セミナーの開催	2時間	10万円
4	体制整備	安全管理研修 基礎編	3時間	10万円
5	体制整備	安全管理研修 応用編	3時間	10万円
6	体制整備	安全管理マニュアル簡易版制作		30万円～
7	体制整備	農業体験ガイド(インストラクター)研修	2.5時間	10万円
8	体制整備	感染症対策等研修会(ガイドラインの活用と事例紹介)	2時間	10万円
9	体制整備	事業計画策定研修	2時間×3回	30万円
10	遊休資産活用	農家民宿・民泊開業・受入研修	2時間	10万円
11	コンテンツ支援	コンテンツ開発研修(地域資源発掘編)	2～3時間	10万円
12	コンテンツ支援	コンテンツ開発研修(体験メニュー開発編)	2時間	10万円
13	コンテンツ支援	コンテンツ開発研修(ターゲット別滞在プログラム開発編)	2時間	20万円
14	コンテンツ支援	コンテンツ開発研修(モニターツアー編)	要相談	応相談
15	コンテンツ支援	教育旅行向けプログラム開発研修	2～3時間	15万円
16	コンテンツ支援	法人旅行向けプログラム開発研修	2～3時間	15万円
17	6次化支援	6次化 商品開発・マーケティング・プロモーション	要相談	応相談
18	6次化支援	フードダイバーシティ研修・メニュー開発	要相談	応相談
19	インバウンド支援	訪日外国人向けプログラム開発研修	2～3時間	15万円
20	インバウンド支援	訪日外国人へのホスピタリティサービス	3時間	15万円
21	インバウンド支援	外国人旅行者おもてなし研修・接客ロールプレイング	3時間	15万円
22	情報発信	ファムトリップ実施	要相談	応相談
23	情報発信	ICT・SNS活用研修	2時間	15万円
24	情報発信	情報発信ツール作成		応相談
25	総合支援	スタッフ・専門家派遣		応相談

2021年9月現在：諸事情により変更の可能性がございます。

支援地域の一例

農泊や共生対流等を通じて本会が体制整備段階から支援した地域

(株)農協観光との連携事業を含む
団体名の下のテキストは主な支援内容

獲得した主な表彰ならびに優良事例紹介等(一部)

九州・沖縄

R1農水省:多様な取組事例

(一社)隠れ里ひとくまツーリズム

農家民宿を拠点に命の食事を
テーマにした農泊コンテンツの
開発、法人化に向けた体制整備

道の駅そよ風パーク

道の駅のリニューアルオープンに
合わせた運営支援および地域内
コンテンツの開発と商品化

中国・四国

H30 日本農業遺産

奥出雲町農泊推進協議会

神話・たたら製鉄をテーマにした
農泊コンテンツの開発、農泊施設
拡大の支援

浜田市ツーリズム協議会

農泊協議会立ち上げ・体制整備
の支援、地域資源を活用した
農泊コンテンツの開発

R1 日本遺産

R1 SAVOR JAPAN

(一社)麒麟のまち観光局

地域連携DMOの立ち上げ支援、
地域と連携した個人向け農泊
コンテンツの開発

H29 ディスカバー農山漁村の宝

世羅高原6次産業推進協議会

農家民宿を拠点にした6次化支援

北陸

魚沼ゆのたに農泊推進協議会

道の駅を拠点に郷土料理と雪をテ
マにした農泊コンテンツの開発

H30都市農村交流優良事例表彰

JAはくい

自然農法をテーマにした農泊コン
텐츠の開発

田上町農・泊連携推進協議会

湯田上温泉と道の駅を拠点にした農
泊コンテンツの開発

信州・松本奈川GT推進協議会

農家民宿と連携した農泊コン
텐츠の開発

近畿

H28 ディスカバー農山漁村の宝

H30 SAVOR JAPAN

JA紀の里

直売所を拠点にフルーツをテ
マにした農泊コンテンツの開発

北海道・東北

R1農水省:多様な取組事例

JAいわて花巻

花巻温泉と連携した体制整備
JAあさひな

JAと連携した農泊コンテンツの開発

東海

R1ディスカバー農山漁村の宝

函南町農泊推進協議会

酪農体験施設を拠点に酪農業をテ
マにした農泊コンテンツの開発

JAおおいがわ

JA交流施設を拠点にお茶をテ
マにした農泊コンテンツの開発

浜松・浜名湖観光地域づくり協議会

館山寺温泉を拠点に浜名湖をテ
マにした農泊コンテンツの開発

浜松三ヶ日農泊推進協議会

未利用農水産物を活用した環境
循環型をテーマにした農泊コン
텐츠の開発

R1 SAVOR JAPAN

南知多農泊推進協議会

海の農泊コンテンツ開発と
SAVOR JAPAN取得支援

関東

H27JA都市農村交流優良事例表彰

JA邑楽館林

JAと連携した食農コンテンツの開発

農林水産省優良事例紹介地域

(一社)みなかみ町体験旅行

協議会の立ち上げ支援と教育
旅行向けコンテンツの開発

JA佐野

観光いちご農園と連携した農泊
コンテンツの開発

かぬまいい旅推進協議会

ウェルネスや歴史をテーマにした
農泊コンテンツの開発

蔵inガルテン川越GT協議会

市の体験交流施設を拠点にした
農泊コンテンツの開発

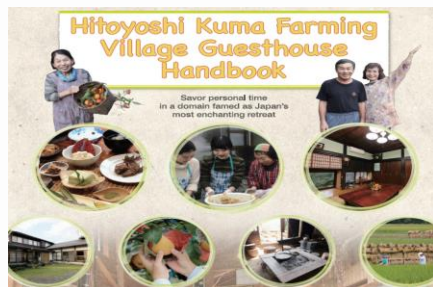
H30都市農村交流優良事例表彰

JA君津

体験農園の立ち上げと利活用、
農泊コンテンツの開発

南足柄市農泊推進協議会

温泉施設と連携した農泊コン
텐츠の開発





支援事業の一例

行政や地域団体等に対して本会が事業を受注した案件(平成30年から令和2年度の一例)

農林水産省 農山漁村振興交付金事業 広域ネットワーク推進

- ・農泊経営人材研修(令和2年度)
- ・農福連携が農業経営等にもたらす効果の調査研究(令和2年度)
- ・関東農政局農泊促進プロモーション(令和2年度)
- ・農泊マニュアルの作成(令和元年度)
- ・農山漁村地域が元気になるためのサミット開催(東北開催)(令和元年度)

観光庁

- ・城泊・寺泊専門家派遣(令和2年度)
- ・歴史的資源を活かした観光まちづくり人材育成プログラム(令和元年度)

復興庁

- ・地域振興マッチング「結の場」参画(令和2年度・元年度)

行政・地域団体プロポーザル事業業務委託

- ・東京都商工会連合会多摩観光推進協議会
観光ルート開発モデル業務(令和2年度)
- ・神奈川県:里地里山モデルツアー業務委託(令和2年度)
- ・岩手県:いわて型まるごと食の体験ツアー(令和元年度)
- ・千葉県:びわ・かんきつ園交流促進事業(令和元年度)
- ・福岡県:県産食材産地ツアー運營業務(令和元年度)
- ・鹿児島県いちき串木野市:農家民宿開業研修事業(令和元年度)
- ・徳島県:農山漁村体験指導者研修実施業務(令和元年度)
- ・宮城県:訪日教育旅行受入促進セミナー(平成30年度)
- ・福島県金山町:着地型旅行商品造成販売(平成30年度)
- ・新潟県農林公社:地域別リスクマネジメント研修事業(平成30年度)
- ・静岡県:ふじのくに農泊人材育成事業(平成30年度)
- ・香川県:農林漁家民宿実践体験モニター企画(平成30年度)
- ・熊本アグリインバウンド協議会:訪日モニターツアー支援事業(平成30年度)

◆ 詳しいお問い合わせは、

○ 一般社団法人全国農協観光協会 【担当:前場・安田】

住所:〒101-0021 東京都千代田区外神田1-16-8 Nツアービル4F

電話:03-5297-0323 E-Mail:zemba@i-znk.jp